

## 「杉並区区民等の意見提出手続」の結果報告書

◎政策等の題名：「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画(新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合)」

◎政策等の案の公表の日：平成22年3月11日

◎意見提出期間：平成22年3月11日から4月9日まで(30日間)

上記の政策等の案について意見提出手続を行った結果、15件の意見の提出がありました。提出方法別の件数及び項目数は、以下のとおりです。

| 提出方法   | 件数(A+B) | 人数(A) | 団体数(B) | 項目数 |
|--------|---------|-------|--------|-----|
| 文書     | 3       | 3     | 0      | 4   |
| F A X  | 5       | 5     | 0      | 12  |
| 電子メール  | 4       | 4     | 0      | 11  |
| ホームページ | 3       | 3     | 0      | 5   |
| その他    | 0       | 0     | 0      | 0   |
| 合計     | 15      | 15    | 0      | 32  |

注1)件数:提出件数(但し、同一主体から複数回に分けて寄せられた意見については1件とする)

注2)項目数:寄せられた個人毎の意見の総数(例 提出件数2件 A氏;2項目、B氏;3項目⇒項目数;5)

◎お寄せいただいたご意見と、ご意見を考慮した結果(区の考え方)や理由等について下記のとおりまとめました。

別紙添付

問い合わせ先

教育改革推進課学校適正配置担当 内線1682

## 「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」に対する区民等の意見提出手続の実施結果等について

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」の策定にあたり、「杉並区区民等の意見提出手続に関する条例」に基づく区民等の意見提出手続を実施いたしました。この結果につきまして、以下のとおり報告いたします。

### 1 区民等の意見提出期間

平成22年3月11日（木）～4月9日（金）

### 2 公表方法

- 広報すぎなみ7月1日号（概要のみ）
- 区及び教育委員会ホームページ
- 文書による閲覧（教育改革推進課、区政資料室、区民事務所・分室、駅前事務所、図書館）

### 3 意見提出状況

計15件（個人15件、団体0件）、延べ32項目

電子掲示板・メール 7件

F A X 5件

郵送・持参 3件

### 4 区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

別紙1のとおり

#### 【問い合わせ先】

教育委員会事務局教育改革推進課学校適正配置担当

電話 03（3312）2111 内線1682

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No.          | 意見の概要   | 教育委員会の考え方   |
|--------------|---|---|
| 1 小中一貫教育について |   |   |
| 1            | 小中一貫教育といった児童・生徒の教育の体系を考えるよりも、教員や保護者の教育という視点から、もっと深めた議論をしていくべきである。   | 小中一貫教育校の設置の基本的な考え方は、計画案にお示ししている「杉並区小中一貫教育基本方針」（平成21年9月策定）のとおりです。  |
| 2            | 小中一貫教育校になると、どんな効果が表れるのか疑問である。   | 他自治体の先行事例を見ると、小中一貫教育の実施により、児童・生徒が思いやりや感謝の気持ちを持つ機会が増え、心の醸成がより図られているとともに、発達段階に応じた学習が適切に展開され、  |
| 3            | 新泉・和泉地区の特性を考えれば小中一貫教育校の設置は活性化に効果がありそうだが、中学校入学時の環境の変化を乗り越えることによって子供が大きく成長することもできると考えるので、区内での導入拡大は慎重に検討することを望む。 | 個々の学力や体力も向上しているという等の成果が示されており、今後も取組を進めていきます。  |
| 4            | 教育効果の向上が期待できる小学校と中学校の統合による小中一貫教育校の設置には賛成である。  | 3校のこれまでの小中一貫教育の成果等を踏まえ、地域の期待に応えられるよう、魅力ある小中一貫教育校の実現に向けて、学校、地域とも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。  |
| 5            | 英語や数学といった壁にぶつかりやすい教科については、先を見据えたカリキュラムをつくり、子供たちにとって無理なく学習できる環境を整えてほしい。  | 教育内容は、学習指導要領に準拠し、履修すべき事項を確実に習得することを目指し、教育委員会としての指導資料の作成、研修の実施等を進めます。中学校の英語や数学については、複数教員による少人数指導や補充学習、また、小学校の教員による復習授業等を通して、一人一人の習熟度に対応していきます。 |
| 6            | 小中一貫教育校の特色として、校長1人、副校長が原則3人とあるが、実際3人必要なのか疑問である。<br>今から小中一貫教育校の校長や学校教職員を決めて、開校に向けて具体                           | 小学校1年生から中学校3年生まで幅広い年齢の子供たちを対象とするとともに、地域との連携活動、保護者対応など副校長の職務範囲は増えており、3名で役割分担を定めて、校長をサポートしていくことが適切と考えます。  |

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No. | 意見の概要   | 教育委員会の考え方   |
|-----|---|---|
|     | 的な検討を進めていくべきである。                                  | 開校に向けた検討・準備が円滑に進められるよう<br>人事配置についても十分検討します。   |
| 7   | 区教育委員会のホームページ内に<br>小中一貫教育校に関する専用のページ<br>を開設してほしい。 | 本年4月1日から教育委員会ホームページに小<br>中一貫教育に関する内容を掲載しています。今後、<br>新泉・和泉地区小中一貫教育校に関する情報につい<br>ても、検討内容を掲載します。 |

## 2 開校に向けての進め方について

|    |  |  |
|----|--|--|
| 8  | 5年後の新しい学校づくりに向け<br>ての検討にあたっては、過程を公開<br>し、多くの関係者（子供、保護者、教<br>職員、地域の人）の参加を求める。                                   | 開校に向けての具体的な検討は、協議会におい<br>て、保護者や地域の方々の意見も踏まえながら行っ<br>ていきます。<br><br>その中で、関係者の意見を反映できる方法なども<br>検討し、特に子供たちが新しい学校づくりに関わっ<br>ているという想いを抱けるよう進めます。                               |
| 9  | 小中一貫教育校設置協議会（以下<br>「協議会」といいます。）に関する情<br>報の発信は一方通行ではなく、フィード<br>バックするような仕組みにすべき<br>である。                          | 協議会の資料、議事録については、開催後できる<br>限り早く教育委員会ホームページに掲載します。掲<br>載した内容に対し寄せられた意見等については、適<br>宜、協議会にお伝えしてまいります。<br><br>また、協議会の開催日時については、事前に教育<br>委員会ホームページ等でお知らせし、会議の傍聴も<br>可能とする予定です。 |
| 10 | 協議会の議事録を毎回会議の一週<br>間後を目処に公開してほしい。また、<br>傍聴が可能であれば、協議会の開催日<br>時を事前に公表してほしい。                                     |  |
| 11 | 学校経営は、校長の経営能力が大き<br>な鍵を握る。校長の人は、保護者や<br>地域が関与できれば理想だが、それが<br>無理ならば、開校の相当前に内示を<br>し、教育方針などについて校長と話し<br>合える場を望む。 | 現行の人事制度上、校長の内示について事前に公<br>表することはできません。ただし、3人の校長も委<br>員となっている協議会で、教育目標や教育方針を定<br>めていきますので、保護者等と3人の校長との話し<br>合いの場等は、設けていきたいと考えています。  |

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No. | 意見の概要   | 教育委員会の考え方  |
|-----|---|--|
| 12  | 新泉小学校や和泉小学校から和泉中学校に進学する児童は少ないが、小中一貫教育校になると、その点が改善されるのか疑問である。  | 施設一体型となることによって、小中学校の接続がより円滑に行えるものと考えております。その具体的な活動内容、効果等を積極的にPRするとともに、今後設置する協議会を含め、地域の方々とともに |
| 13  | 新泉小学校や和泉小学校から和泉中学校へ進学する児童は少ないが、ぜひその理由を明確に分析し、改善策を考えてほしい。  | に新しい学校づくりを進めることにより、中学校への魅力を高めていけるものと考えています。<br>また、生徒数が減少した原因について調査し、対策を講じていきます。              |
| 14  | 将来、我が子を和泉中学校に通わせようと考えているので、ぜひ小中一貫教育校開校までに保護者に対して和泉中学校の良さをアピールしたり、必要な調査を行い、和泉中学校の生徒離れを阻止する方法を考えてほしい。 |  |
| 15  | 統合までの間、中学校の生徒数が減少しても、教育内容は変えず、学びの連続性を保障し、専科の先生もしっかり配置してほしい。   | 生徒数の増減に関わらず、教育内容の充実を図れるよう教員を配置します。   |
| 16  | 今後の説明会等については、これから学校を選択する未就学児の保護者も対象とし、幼稚園、保育園、公的集会施設などで開催してほしい。                                     | 幼稚園、保育園等にも説明会のチラシの配布、掲示についての協力を依頼し、未就学児の保護者も参加しやすい時間帯、場所を考慮しながら開催してまいります。                    |

### 3 学校の統合について

|    |  |  |
|----|--|--|
| 17 | 何故、新泉小学校、和泉小学校と和泉中学校が、小中一貫教育校の設置対象校になったのか。 | 計画案にもお示ししているとおり、この3校は、平成17年度から先行して小中一貫教育に取り組んでいるとともに、合同の学校支援本部を設置しているなど地域で学校を支える仕組みも整っていることと、施設一体型の小中一貫教育校を設置できる |
|----|--|--|

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No. | 意見の概要  | 教育委員会の考え方  |
|-----|--|--|
|     |  | 敷地の確保が可能であったことから、保護者を含む地域の方々に提案し、ご理解をいただいたうえで、計画案を策定したものです。  |
| 18  | きめ細かな指導が可能である小規模校の良さを考えると、小学校の統合は必要なのか疑問である。 | 小規模な学校には、きめ細かな指導が可能といった良さがある半面、人間関係が固定化しやすい、運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい、児童・生徒の希望に応じた部活動、クラブ活動の機会を提供できにくくなるなどの課題があります。このため、一定の規模を確保し、その中で少人数指導や習熟度別指導など、きめ細かな指導を行っていくことが望ましいと考えています。 |

4 改築・改修工事中の対応について

|    |   |   |
|----|---|---|
| 19 | 工事期間中の校庭、体育館、教室などの学校設備について、どの程度影響があるのか明らかにしてほしい。        | 校舎の配置等によって、具体的な学校設備への影響が異なります。できる限り、教育環境に支障が生じないよう協議会の中でも検討を行い、平成22年中に、校舎の配置を確定し、予想される学校設備の影響についても、公表していきたいと考えています。 |
| 20 | 神田川の治水工事も行っているの<br>で、東京都とも連携しながら安全、景観も踏まえた学校づくりを行ってほしい。 | 東京都との工事の調整は行っていくとともに、学校建設にあたっては、治水対策となる雨水の貯留施設の設置や安全性の確保は十分に配慮します。  |
| 21 | ユニバーサルデザインをコンセプトとしながら、施設工事も学びとなるような進め方をしてほしい。           | 区立小中学校の改築にあたっては、改築基本方針の柱に「ユニバーサルデザインによる施設づくり」を掲げておりますので、本件も、この点を十分配慮し、児童・生徒にとっても学びの場とできるような工夫をしていきます。               |

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No. | 意見の概要   | 教育委員会の考え方                            |
|-----|---|--------------------------------------|
| 22  | 工事期間中、児童・生徒数が少なくなっても、中学校の行事、部活が、充実した活動ができるよう合同部活の採用など具体的な方策を示してほしい。 | 学校間の調整を図りながら、充実した活動が可能となるよう努めてまいります。 |

5 教育環境について

|    |   |  |
|----|---|--|
| 23 | 新泉小学校の学童クラブは、和泉児童館に統合されるのか。現状のキャパシティを考えると、学童クラブの新設も視野に議論すべきである。 | 近隣の児童館・学童クラブや和泉小学校の放課後子ども教室の運営状況なども踏まえながら、児童の受け入れ体制が確保できるよう、一貫教育校の中に設置するか否かも含め、調整を図ります。                |
| 24 | 小中一貫教育校にした場合、体育館等の使用頻度も高くなるので、そのスペースの確保や新泉小学校の体育館を残すなど配慮してほしい。  | 体育館については、2つの体育館設置を前提に検討してまいります。<br>また、新泉小学校の跡地利用については、「杉並区立小中学校跡地等の活用に関する基本方針」に基づく跡地活用の検討の中で、決定していきます。 |
| 25 | 新泉小学校から移設する特別支援学級はワンフロアで危険のないように考慮すべきである。                       | 特別支援教室の安全面に関しては、十分検討し、危険がないように配置していきます。  |
| 26 | 統合により小学校低学年の通学距離の遠隔化が懸念される。低学年児童は近くの校舎に通う形は取れないか                | 小学1年生から中学3年生まで、同じ校舎で過ごすことが、小中一貫教育校の最大のメリットと考えています。通学路に関しては、安全指導員の増員や関係機関と調整しながら安全対策を講じていきます。           |

6 跡地利用について

|    |  |   |
|----|--|---|
| 27 | 新泉小学校の跡地については、校舎の一部をインキュベーションオフィス（起業、創業者支援用の貸出施設）として活用すれば、地域の活性化にも | 学校跡地等は、区民共通の貴重な財産ですので、今後、区で定めている「杉並区立小中学校跡地等の活用に関する基本方針」に基づき、地域の方々など関係者から寄せられるご意見等も踏まえ、地域の活 |
|----|--|---|

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」〔案〕に対する区民等の意見の概要と教育委員会の考え方

| No. | 意見の概要  | 教育委員会の考え方                                |
|-----|--|--|
|     | つながると思う。                                       | 性化や教育環境の向上など区民福祉の向上につながるような有効活用を図っていきます。 |
| 28  | 学校跡地は、増大する高齢者のために高齢者施設などを設置することを望む。            |  |
| 29  | 一部は、低学年児童用の学校とし、空いた教室で、認可保育園、高齢者施設として利用はできないか。 |  |

7 その他

|    |   |  |
|----|---|--|
| 30 | 小中一貫教育校のプールについては、地域の方々や中学校の部活動のためにも早朝や夜間の利用が可能となるような設置を望む。            | 小中一貫教育校のプールについては、和泉中学校と同様に区民開放を行う方向で検討していきますが、その場合の時間の延長等につきましては、今後、検討及び必要な調整を行います。  |
| 31 | 開校までの期間が5年というのは長すぎる。先行自治体の一つである品川区の実績を参考にすれば、開校までのスケジュールは、3年で十分ではないか。 | 地域、保護者の方々の意見を踏まえて校舎の基本設計・実施設計を行っていきますので、これに2年を要し、その後、新校舎の建設に概ね2～3年の期間を要します。また、校舎の建設のみならず、児童・生徒や教職員の交流などを一層充実させる必要があることから、開校予定時期を平成27年4月としています。 |
| 32 | 30人程度学級を維持しながら、計画を進めてほしい。また、隣接している地区にもこの取り組みを説明してほしい。                 | 小中一貫教育校であっても、小学校部分については、他の学校と同様に30人程度学級を維持します。また、計画の取組内容については、教育委員会ホームページなどを通じ広く公表していくとともに、必要に応じて小中一貫教育に関する説明会の隣接地域での開催についても検討していきます。          |